

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	つみき第3		
○保護者評価実施期間	R7 年 1月 7日		～ R7 年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7 年 1月 7日		～ R7 年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しく事業所に通い、通所を楽しみにしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムが分かりやすく、また自己選択自己決定の機会を多く設けていること。</li> <li>・自己肯定感を高めるよう、言葉かけや働きかけを丁寧に行っていること</li> </ul>	年齢や発達段階を丁寧に読み取り、本人が自信をつけていけるようなプログラム・働きかけを提供できるよう、職員が研鑽を重ねていく。
2	各種マニュアル及び災害時備蓄等非常時への備えの充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令改正に合わせ必要なマニュアルをきちんと整備している。</li> <li>・助成金等の情報収集を適時行い、必要な物資の調達を行っている。</li> </ul>	利用者・保護者への発信を通して、様々な情報を適切にお伝えし、また、防災意識の啓発に寄与できるよう取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルや災害対応訓練</li> <li>・苦情相談先や通報窓口</li> </ul> 等、利用者・保護者への周知が必要な情報の浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体中心のお知らせ</li> <li>・利用者の状況によっては保護者と顔を合わせる機会が少ない事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルツールの活用</li> <li>・定期的なお知らせ</li> </ul>
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つみき第3

公表日 2025年3月14日

利用児童数 34

回収数 15

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3	0	0	少し狭く感じることがあるようです。	収納の見直しなど、スペースの有効活用を進めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1		引き続き法を順守し適正に基準に沿った人員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	1		バーテーションでスペースを区切るなど、必要な環境整備を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0		毎日の清掃・消毒を引き続き丁寧に続けてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1	細かい事もよく見てくださっていて、感謝しています。	引き続き一人一人に合わせた支援を提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0	支援プログラムがなんなのかよくわかりません。	定期で保護者に配布するなど、事業所の支援プログラムへの理解が深まるような取り組みを進めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	1		ご本人・ご家族の希望を踏まえ、ニーズを達成できるよう、計画作成・見直しを進めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1		引き続き、報酬改定やガイドライン等を踏まえ、支援計画を作成し、適切に支援提供できるよう取り組んでまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1		引き続き支援計画に沿った支援を提供していくとともに、必要に応じて見直しを行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	1		ご本人たちの様子を見ながら、柔軟なプログラム設定ができるよう、研鑽してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	2	3		公園や児童館など、地域施設の活用を通して、交流を深めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	3		引き続き丁寧に説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	1		引き続き計画に沿って説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	2	2		法人全体で、ペアレントメンターの活用など、保護者支援に資する取り組みを深めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1	0	0	送迎時の申し送りで、丁寧に説明してくださっています。	引き続き、送迎時の申し送りに重点を置き、共通理解を持てるよう丁寧に取り組んでまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0		引き続き、定期で面談を行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	1		引き続き、ご本人・ご家族に対し、共感的姿勢で支援提供を行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	5	2	1	保護者会は開催されていますが、忙しくて参加できません。	父母会は現在休止中ですが、保護者会等の機会を通して、また日時の設定等も工夫しながら、保護者交流が深まるよう取り組んでまいります。きょうだい児支援については、ニーズの把握含め、法人全体で検討してまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1		利用開始時のみならず、必要に応じて相談先のご案内をするなど、体制の周知に取り組んでまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	1	ご本人・ご家庭の状況に応じて、筆談や翻訳アプリの活用など、必要な配慮を行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	0	【つみき新聞】の発行や、ホームページの見直しなどを通して、法人全体で情報発信の強化に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0	引き続き、【情報提供同意書】の内容に沿って、適切に個人情報の取扱いを行うとともに、ご本人ご家族のご理解を得ながら情報管理を行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2	0	2	マニュアルと訓練の実施状況等について、月予定表等活用しながら周知に取り組んでまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	2	申し送り時に訓練時の様子について報告を下さいますし、子どもも「避難訓練した」と話してくれることがあります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	引き続き、安全が最大限確保されるよう、体制を整え支援してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	1	ケガや事故などだけでなく、体調不良等もこまめに連絡を下さっています。お子さんの体調については、速やかに細やかにご家族と情報共有を行えるよう、引き続き取り組んでいきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	1	疲れたから行きたくないという事がたまにあります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	1	安心して楽しく通所できるよう、一人一人の状況に合わせて支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つきみ第3		公表日		R7 年 3 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動室内に置くものを減らしている。	引き続き、空間を有効活用し、安全で広いスペースを確保できるよう取り組んでいく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	少ない人員の中で、安全に過ごせる様、言葉かけや打ち合わせを行っている。	お迎え先が多いため、安全に送迎できるよう職員の適正や利用児との相性を考慮して組むことが難しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	大きなホワイトボードを部屋の中央に設置し、1日の流れを文字で確認できるよう工夫している。	お子さんの特性に応じて、写真やイラストの活用を進めていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	おもちゃやドアノブなど、活動で子供が触れる場所・物については毎日消毒を行っている。	マットの配置場所によって劣化の速度が違うので、適宜交換していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パーテーションで区切ったり、テーブルの利用をするなど、工夫している。	細分化が必要な状況にも対応できるよう、備品・環境整備を進めていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	管理職を中心に、常勤職員も参画して取り組んでいる。	第三者評価でも指摘を受けた事項なので、今年度の振り返りから、全職員から確実に意見を聴取し進めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者向け評価表の評価も踏まえ、事業所の自己評価を行っている。	更に広く保護者様からの回答を得られるよう、ご協力をお願いしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	部会や日々のミーティングで職員の意見聴取を行っている。	今年度より職員面談を全員対象に実施しているため、来年度以降も取り組み職員の意見聴取の機会としていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	今年度初めて実施した。	定期的な受審を通して、法人・事業所運営に活かしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	講師をお招きしての研修など、充実している。	内部研修については動画化しオンデマンドで受講できるよう取り組みを進めていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	今年度初めて実施した。	子どもたちの反応や保護者の評価を踏まえ、より事業所の実情に即したプログラムとなるよう、見直しを行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	活動の中で本人に希望を聞き取り、面談や日々の申し送りを通して保護者のニーズを適切に把握し、職員間で共有して計画作成に活かしている。	引き続き、ご本人・ご家族のニーズを踏まえた計画作成を進めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	原案を基に職員間で確認し、作成している。	引き続き支援担当職員の参画を得て、計画作成を行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個人ファイルを鍵付きのキャビネットで保管し、職員はいつでも閲覧できるようにしている。 個別支援記録に簡略化した支援目標を記載し、記録作成時にも支援内容に即した記録をかけるよう工夫している。	引き続き、支援計画の作成から実施まで職員が積極的に参画できるよう取り組みを進めていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	面談時や個人記録の情報を基にアセスメントを行うとともに、日々の行動観察の結果を個別支援記録で記録してアセスメントを行っている。	法人内他事業所とともに、支援級在籍児・普通級在籍児の状況を的確にアセスメントできるよう、方法の検討・改良を進めていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインの改定に合わせ、項目や内容の見直しと、全項目を網羅できるよう書式の改定を行った。	これまでの本人支援中心の支援計画から、家族や本人を取り巻く環境まで包括的に支援できる計画となるよう留意し、計画作成を行っていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	曜日ごとにプログラム作成担当者を設定し、曜日横断的な活動を取り入れていくことで、チームで相談し合いながらプログラム作成を行えるよう設定している。	引き続き、チームでプログラム検討を行う体制を維持し、取り組んでいく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節に応じた制作やプログラムを取り入れることで、固定化しないよう工夫している。	引き続き、季節や流行等も踏まえ、多様なプログラムを提供できるよう取り組んでいく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団でのプログラムを毎日必ず設定し、一人一人がそれぞれの方法で参加できるような支援計画を策定している。在籍児童の特性を考慮し、個別に集中して取り組む時間を毎日設定している。	引き続き個別プログラムと集団プログラムを適宜組み合わせ活動運営を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	流れと役割分担を確認するため、活動予定表を活用し、打ち合わせを行っている。	必要に応じてより細やかに役割分担が行えるよう、打ち合わせを活用していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	活動予定表をもとに、一日の流れを振り返りながら打ち合わせを通して活動記録を作成し、気づいたことなども活動記録上に記録している。	引き続き支援終了後に職員間で情報共有を行い、翌日以降の支援に活かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個別支援記録の書式を改良し、専門的支援を含め支援に関する記録を一元的に確認できるようにした。	請求ソフトに付随する支援記録の活用を検討し、支援記録をより支援に活かしていける方法を検討していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	児童の個別の状況に合わせ、また都型放デイの個別支援計画に必要な中間モニタリングも踏まえ、適切に見直ししている。	引き続き都型放デイの中間モニタリングを有効活用し、定期的に見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	支援計画にも4つの基本活動のうちどれに当てはまるかを記載し、運動性を担保している。	引き続き、4つの基本活動をバランスよく組み合わせ支援提供できるよう取り組んでいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	複数のプログラムの中から一つを選択したり、子供同士で相談して活動内容を決める機会を設けるなど、自己選択・自己決定の力が育まれるような支援を行っている。	引き続き、自分で考え決める力をはぐくんでいけるようなプログラムを提供していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者を中心に、本人や本人を取り巻く環境を理解した職員が関係機関会議に参加するようにしている。	引き続き、子供の状況を理解した物が参加する体制を整備していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校や行政・子ども家庭支援センター等と緊密に連携を取っている。	引き続き関係機関との連携を丁寧に行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	過予定や下校時間の変更など、学校や保護者から情報提供を受け、適切に行っている。	引き続き、各校や利用者の状況に合わせ、適切に情報共有を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	個人情報保護の観点から、保護者の求めに応じて情報共有を行うようにしている。	引き続き関係法令を遵守しながら、関係機関と連携を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	法人の代表者が、区立の児童発達支援センターが実施している会議や研修会に参加し、連携を行っている。	各事業所も参加する必要がある研修会等は、事業所ごとに参加するなど連携を深めている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	公園など、居合わせた地域のこどもを中心に交流を行っている。	保護者や本人のニーズも参考に引き続き地域交流を行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	法人の代表者が、自立支援協議会が設置する医療的ケア児者部会や相談支援部会に参加している。	引き続き、参加することで地域の福祉向上に資する事ができるよう取り組んでいく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時の申し送りや面談等を通じ、保護者との情報共有・連携を深めている。	引き続き取り組み、共通理解を持って支援を行えるよう取り組んでいく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	保護者会や配布物等で、情報提供を行っている。	2025年度よりペアレントメンター制度も活用しながら、保護者含めて養育できる環境の整備に寄与できるよう働きかけを行っている。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用開始前の面談で、施設のしおりを活用し、ご理解ご納得いただけるよう丁寧に説明を行っている。	引き続き丁寧な説明を心がける。	
37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談や日々の申し送りを通して、保護者のニーズを確認している。ご本人のニーズは、活動の様子から読み取ったり、ご本人に聞き取ったりして確認している。	引き続き、ご本人・保護者とも、それぞれの状況に応じた方法で確認を行っていく。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	作成後面談や帰宅送迎時の申し送り時に説明を行い、持ち帰って確認ができるようにしている。	これからも不明なことがあればいかに説明する事をお伝えしつつ、計画のご理解を頂いたうえで同意いただけるような説明を心がけていく。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	ご家庭の状況に応じ電話や対面、申し送り時などいつでも面談に応じる旨お伝えしている。	引き続き適切に対応していく。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会を開催し、保護者交流の機会となるよう取り組んでいる。	法人全体で保護者交流の機会を設けたり、兄弟向けのプログラムを開催するなど、利用者家族のニーズも確認しながら取り組んでいる。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	重要事項説明書に明記し、初回利用前の面談でアナウンスする他、つきき新聞等でもお知らせしている。	引き続き、わかりやすくお伝えできるよう配慮していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月予定表を配布し、必要な情報を周知できるようにしている。	引き続き予定表を活用するとともにHPの運用も検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	データを含め持ち帰りはしないよう職員ルールブックに定めるほか、入職時に同意書を取っている。	引き続き関係法令を遵守し、個人情報を適切に取り扱えるようにしていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	筆談や翻訳アプリの活用など、個々の状況に合わせた配慮を行っている。	引き続き必要な形が取れるようにしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	法人の全体行事には、OB・OG等にお声掛けをしている。	行事の開催規模を検討しながらボランティアの活用等検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルの策定・見直しは定期的に行い、訓練を実施している。	周知の状況が芳しくないので、訓練実施時にマニュアルに沿って行っていることなどをお伝えしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	法改正に合わせBCPを作成し、運用した訓練等を実施した。	引き続き職員間で共有し、訓練等で活かしながら改良を重ねていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用前の面談や個人記録等で情報収集し、必要に応じて医師の指示書を得て対応している。	引き続き安全にサービス提供できるよう、子供の状況を確認していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー情報を聞き取り、提供しないようおやつやの保管場所にアレルギー一覧を貼り付け対応している。	保護者に周知を重ね、アレルギー対応の医師指示書が得られるよう説明を重ねていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3	各種インシデントに対応するためのマニュアルを作成し、職員に周知している。	現在あるマニュアルやBCPを運用していく中で、統合した安全計画の作成を検討していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	【施設のおしり】を作成し、利用する上で安全確保上必要な取り組みについて説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットは事業所内の閲覧ファイルに保管し、職員間で共有するとともに、年に一度法人でも集約して共有する取り組みを行っている。	引き続き、ヒヤリハットを法人全体で共有する取り組みを進め、職員の事故未然防止のための啓発を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	毎年全職員を対象に、区の虐待防止センターの職員に虐待防止研修を行っている。	引き続き取り組み、職種関係なく虐待防止の取り組みを進めていけるようにしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合は職員間で合議をしたうえで保護者の了承を得て、記録を残している。	やむを得ず身体拘束を行う場合には先の取り組みを引き続き行うとともに、行わずにサービスを提供できるよう支援方法の検討を行っていく。	